

## 東日本大震災に係る道路局の対応について

## 1 市内道路の被害及び復旧状況

地震により被害を受けた道路について、発災後、速やかに仮復旧等の応急措置を行いました。

被害状況については、6月30日を最終として集約したところ、主な被害箇所と軽微な被害箇所を合わせ、328か所を確認しました。このうち268か所については、復旧工事を完了しており、残る60か所についても、引き続き隣接住居等との調整を行いながら、復旧措置を進めます。

## 【各区の被害及び復旧箇所数（H23.6.30現在）】

区名	主な被害箇所数 ※1	軽微な被害箇所数 ※2	復旧箇所数	区名	主な被害箇所数 ※1	軽微な被害箇所数 ※2	復旧箇所数
鶴見	0	1	1	金沢	3	0	1
神奈川	4	3	2	港北	0	17	6
西	11	67	72	緑	0	6	0
中	4	143	122	青葉	0	0	0
南	1	20	21	都筑	1	17	15
港南	0	2	2	戸塚	1	10	10
保土ヶ谷	3	5	7	栄	1	0	1
旭	5	1	6	泉	0	0	0
磯子	1	0	1	瀬谷	0	1	1
				合計	35	293	268
					328		

※1 主な被害箇所：車道の陥没、亀裂及び歩道の破損等で規制を伴うもの

※2 軽微な被害箇所：官民境を表示する境界ブロックの破損や歩車道境界部の縁石の破損などの部分的な破損

<参考>本市管理道路以外の主な被害及び復旧状況

## ① 国道 357 号（国管理）

ベイブリッジ区間の橋梁伸縮装置損傷により通行止め

→ 3月12日応急復旧工事により通行止め解除、10月工事完了予定

## ② 高速湾岸線：（首都高速道路株管理）

大黒ジャンクション連結路部分の損傷により通行止め

→ 3月27日応急復旧工事により通行止め解除、6月橋梁本体復旧完了

## 2 節電対策

## (1) 道路照明灯

当局管理の道路照明灯約 60,000 灯のうち、交差点や横断歩道箇所等を除き、交通安全に支障のない範囲で約 8,300 灯を消灯しています。（5月末時点では 7,500 灯）ただし、地域からの要望にはきめ細かく対応し、約 400 灯を再点灯しています。

(2) 昇降機

道路施設である、エレベーターやエスカレーター等については、現在 23 基（総数 149 基）を停止していますが、10 月以降は再稼働する予定です

(3) 金沢シーサイドライン

平日、土休日とも運転本数を減らしていますが、9 月 23 日（金）から、通常ダイヤで運転します。

(参 考) 主な被害箇所と復旧工事後の状況

【液状化：金沢区柴町】



仮  
復  
旧  
後



【路面損傷：金沢区福浦三丁目】



仮  
復  
旧  
後



【路面陥没：中区翁町 2 丁目】



本  
復  
旧  
後



【歩道陥没：西区南幸二丁目】



仮  
復  
旧  
後



## 市第41号議案

## 平成23年度横浜市一般会計補正予算(道路局関連部分)について

## 【補正を行う事業】

**1 1 1 款 1 項 3 目 道路台帳整備費 100,000千円**

東日本大震災により大規模な地殻変動が生じ、国土地理院による電子基準点の観測結果によれば、本市は東の方向へおよそ15センチメートル変位していることが判明しました。そのため、本市内の公共基準点も同様に変位しているものと推測されます。基準点は、地球上の位置や海面からの高さが正確に測定された電子基準点、三角点、公共基準点などをいい、地図の作成や各種測量の基準となりますので、高い精度が求められるため、本市内の公共基準点のうち一次基準点の550点の再観測を速やかに実施して、座標値の変位を修正してまいります。

## 【国の対応】

電子基準点の修正：平成23年5月末に公表済み（本市内2箇所を含む）

三角点の修正：平成23年10月末の公表に向けて作業中

## 【電子基準点】

国土地理院がGPSで常時観測している基準点で、全国約1,200か所、横浜市内には2か所に設置されています。この基準点は、地殻変動の監視、各種測量の基準点として利用されています。

## 【公共基準点】

基準点のうち、横浜市など地方公共団体が設置したものをいいます。本市は、国土地理院が設置した三角点を補完する公共基準点を市内全域に設置し、測量の正確さを確保するとともに、測量作業時間の短縮、測量経費の節減に役立っています。本市内には、国の三角点を基準に設置した「一次基準点」が550点、一次基準点を補完する「二次基準点及び補点」が4718点あります。



横浜市公共基準点



電子基準点

## 2 11款1項7目 橋りょう等維持費 20,000千円

道路局の管理している緊急輸送路にある橋、こ線橋、こ道橋などの重要橋りょうのうち、耐震対策が未完了な橋りょうの対策を進めるため、前倒しが可能な3橋（中区<sup>やとぼし</sup>谷戸橋、西区<sup>おかのぼし</sup>岡野橋、栄区<sup>なかじまぼし</sup>中島橋）について設計を行います。

橋りょう名	所在地	概要
<sup>やとぼし</sup> 谷戸橋	中区山下町～元町	橋長29.0m 幅員15.0m 架設年次 昭和2年 横浜市認定歴史的建造物
<sup>おかのぼし</sup> 岡野橋	西区浅間町～岡野二丁目	橋長24.5m 幅員11.5m 架設年次 昭和49年
<sup>なかじまぼし</sup> 中島橋	栄区上郷町	橋長10.6m 幅員 7.5m 架設年次 昭和22年

### 【スケジュール】

23 年度 落橋防止等設計

24 年度 落橋防止等対策工事

重要橋りょう数	うち対策が必要	H23末 完了見込	H23末 未了見込	今回補正
607橋	354橋	334橋	20橋	3橋

## 3 11款2項5目 高速道路等整備費 134,742千円

高速湾岸線大黒ジャンクション連結路が、東日本大震災により被災し、一時通行止めになるなどの被害が生じました。道路を管理する首都高速道路株式会社が補修工事に全力で対応した結果、応急復旧により3月27日に通行止めは解除され、その後の本格復旧工事でも6月に完了して、現在では、震災前と変わらない安全でスムーズな走行が可能となっています。その復旧にかかる費用につきまして、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法第25条などの規程に基づき、国と共に災害復旧の補助金として同機構に交付します。

補助金の国と自治体（横浜市）の負担割合は、国2：本市1となります。



震災による路面損傷状況



応急復旧状況



現在の路面状況